

サイボウズ ガルーン 3 インストールマニュアル

第 3.2 版

サイボウズ株式会社

はじめに

本書は、1 台のサーバーマシンに「サイボウズ ガルーン バージョン 3.1.0」をインストールする手順と、インストール後の初期設定について説明します。ガルーンをバージョン 3.1.0 にバージョンアップする手順についても説明します。

アプリケーションサーバーとデータベースサーバーを分離した環境でインストールまたは、バージョンアップする場合は、『サーバー分離構成インストールマニュアル』を参照してください。

対象読者

本書の対象読者は次のとおりです。

- 作業員: サイボウズ ガルーンのインストールを担当する作業員です。

本書で使用している表記

本書では、次の表記を使用しています。

表記	意味
注意	操作に注意が必要な事項や制限事項
補足	操作の補足説明や別の操作方法、知っている则便利な情報
[]	画面上のボタン、リンクまたはタブ
- ### ページ	参照先のページ

本書の作成環境

本書の作成環境は、次のとおりです。

- OS: Windows Server 2008 Standard x64(SP2)
- Web ブラウザー: Internet Explorer 8
- 製品バージョン: サイボウズ ガルーン バージョン 3.1.0

本書で掲載している画面表示は、お使いの Web ブラウザーによって異なります。

本書で使用している製品名称と略称

本書では、次の略称を使用しています。

略称	製品名
ガルーン 3	サイボウズ ガルーン バージョン 3.1.0

本書の取り扱いについて

この文書内における掲載情報の二次利用においては、ご自身の判断と責任の下に行ってください。

サイボウズ株式会社は、それらの情報をご利用になることにより発生したあらゆる商業的損害・損失を含め一切の直接的、間接的、特殊的、付随的または結果的損失、損害について責任を負いません。

また、本文書を二次利用し作成した文書には、次のような当社の著作権表示文を記載してください。

「本文書は、サイボウズ株式会社による『ガルーン 3 インストールマニュアル』を一部引用しています。」

商標について

- 記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、弊社の Web サイトを参照してください。
http://cybozu.co.jp/company/copyright/other_companies_trademark.html
なお、本文および図表中では、(TM)マーク、(R)マークは明記していません。

- OpenSSL (Copyright (c) 1998-2001 The OpenSSL Project. All rights reserved.)
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
(<http://www.openssl.org/>)
This product includes cryptographic software written by Eric Young
(eay@cryptsoft.com)
This product includes software written by Tim Hudson
(tjh@cryptsoft.com)

目次

はじめに	2
目次	4
1章 作業前に確認すること	6
1.1 動作環境	6
1.1.1 サーバー環境構築例	7
1.2 ネットワークの設定	7
2章 インストールする	9
2.1 インストールの準備をする	9
2.2 Windows環境にインストールする	11
2.2.1 インストールの準備をする	11
2.2.2 インストールする	13
2.2.3 初期化する	18
2.3 Linux環境にインストールする	19
2.3.1 インストールの準備をする	20
2.3.2 インストールする	20
2.3.3 初期化する	23
2.4 ガルーン 3 を使用するために必要な項目を設定する	25
2.4.1 お客様情報を登録する	25
2.4.2 システム管理者を指定する	25
2.4.3 サイボуз データベースエンジンの設定を変更する	27
3章 バージョンアップする	29
3.1 Windows環境でバージョンアップする	29
3.1.1 バージョンアップの準備をする	29
3.1.2 バージョンアップする	29
3.1.3 更新プログラムを実行する	34
3.2 Linux環境でバージョンアップする	35
3.2.1 バージョンアップする	35
3.2.2 更新プログラムを実行する	38
3.3 バージョンアップ後に必要な操作	39
3.3.1 ログを確認する	39

3.3.2	テーブルキャッシュサイズを変更する	42
3.3.3	認証パスワードを再設定する	43
3.3.4	ライセンスを登録する	44
3.3.5	権限削除プログラムを実行する	44
4章	アンインストールする	46
4.1	Windows環境でアンインストールする	46
4.2	Linux環境でアンインストールする	47
付録A	サービスの停止方法と起動方法	49
付録A.1	サービスを停止する	49
付録A.2	サービスを起動する	49
付録B	ファイル構成	51
付録B.1	Windows環境のファイル構成	51
付録B.2	Linux環境のファイル構成	54
索引	58

1章 作業前に確認すること

ガルーン 3 の動作環境やネットワークの設定について説明します。インストールやバージョンアップの作業をする前に必ずこの章をお読みください。

1.1 動作環境

ガルーン 3 の動作環境は次のとおりです。(2011 年 6 月現在)

注意

- 製造元のサポートが終了している製品、サービスは動作環境に含まれません。

対応 OS

OS	バージョン
Windows	Windows Server 2008 Standard(SP2) Windows Server 2008 Enterprise(SP2) Windows Server 2003, Standard Edition (SP2) Windows Server 2003, Enterprise Edition (SP2) Windows Server 2003 R2, Standard Edition(SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition (SP2)
Windows (64bit)	Windows Server 2008 R2 Standard x64 Windows Server 2008 R2 Enterprise x64 Windows Server 2008 R2 Standard x64(SP1) Windows Server 2008 R2 Enterprise x64(SP1) Windows Server 2008 Standard x64(SP2) Windows Server 2008 Enterprise x64(SP2) Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition(SP2) Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition(SP2) Windows Server 2003, Standard x64 Edition(SP2) Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition(SP2)
Linux	SUSE Linux Enterprise Server 11 Red Hat Enterprise Linux 6 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4) Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4)
Linux (64bit)	SUSE Linux Enterprise Server 11 Red Hat Enterprise Linux 6 Red Hat Enterprise Linux 5 Advanced Platform Red Hat Enterprise Linux 5 Red Hat Enterprise Linux AS (v. 4) Red Hat Enterprise Linux ES (v. 4)

対応 Web サーバー

OS	Web サーバー
Windows	Apache 2.0.x、2.2.x インターネット インフォメーション サービス(IIS) 6.0、7.0、7.5

OS	Web サーバー
Linux	Apache 2.0.x、 2.2.x

対応 Web ブラウザー

OS	Web ブラウザー
Windows	Internet Explorer 6、 7、 8、 9 Mozilla Firefox 3.6、 4.0
Mac OS	Safari 4、 5 Mozilla Firefox 3.6、 4.0
iOS	Safari
Android	Android 標準 Web ブラウザー

補足

- ガルーン 3 は、仮想化環境でも動作します。仮想化環境で使用する場合、お客様の環境によっては、パフォーマンスが低下する可能性があります。
- 最新の動作環境や制限事項については、弊社Webサイトを参照してください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/environment/>

メールサーバー

メールクライアント機能を利用する場合、メールサーバーが別途必要です。対応しているメールサーバーは、次のとおりです。

プロトコル

- SMTP
- SMTPS
- POP3
- POP3S
- IMAP4
IMAP4 はメール受信機能のみに対応しています。その他の機能は使用できません。

認証形式

- APOP
- POP before SMTP
- SMTP Authentication (SMTP 認証)

1.1.1 サーバー環境構築例

利用ユーザー数によって、ガルーン 3 をインストールするサーバーの構成が異なります。サーバーの構築例については、弊社 Web サイトを参照してください。次の Web サイトは、日本語で記載されています。

<http://products.cybozu.co.jp/garoon/product/construction/>

1.2 ネットワークの設定

ガルーン 3 と Web ブラウザーとの通信には HTTP または HTTPS を使用します。ファイアウォールを経由してガルーン 3 に接続する場合は、通信に使用するプロトコルに合わせたポートを開ける必要があります。

プロトコルとポート番号の使用例

プロトコル	一般的なポート番号
HTTP	80
HTTPS	443

ガルーン 3 とデータベースエンジンの通信

- データベースエンジンとの通信に使用するポートは、サーバー外部からアクセスする必要がないため、必ず閉じてください。また、ポート番号は、外部に公開しないでください。
- ガルーン 3 がデータベースエンジンとの通信に使用するポート番号は、通常は 3770 です。
- インストールした環境によって、異なるポート番号が設定される場合があります。
- データベースエンジンのポート番号は、「データベースサーバー設定ファイル」(my.ini ファイル)で確認できます。
- 既定のディレクトリーにガルーン 3 をインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。
Windows 環境: C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini
Linux 環境: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

ポート番号の設定

[mysqld]	
port =	3770

次の機能を使用する場合、ガルーン 3 をインターネットに接続できる環境が必要です。また、ネット連携サービスとサイボウズからのお知らせは、日本語のみの提供です。

- ネット連携サービス(天気予報、六曜)
- サイボウズからのお知らせ
- RSS リーダー(インターネット上のサイトを登録する場合)

2章 インストールする

ガルーン 3 をインストールする手順を説明します。

補足

- ガルーンで利用している LDAP に SSL で接続する場合には、設定が必要です。手順については、弊社の Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/sslsetup.html>
- Windows 環境で SSL を使用する場合は、弊社の Web サイトで制限事項を確認してください。
<https://support.cybozu.com/ja-JP/article/4139>

2.1 インストールの準備をする

ガルーン 3 をインストールするために準備するプログラムと情報は、次のとおりです。

項目	説明
インストーラー	最新版のインストーラーは、弊社 Web サイトからダウンロードできます。次の弊社 Web サイトは、日本語で記載されています。 http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/
Administrator または superuser のパスワード	ガルーン 3 を管理するユーザーのパスワードです。ガルーン 3 を初期化するために必要です。
システム管理者の情報	ガルーン 3 を管理するシステム管理者の情報です。 <ul style="list-style-type: none"> • ユーザー名 • ログイン名 • パスワード
お客様情報	ガルーン 3 を導入するお客様の情報です。 <ul style="list-style-type: none"> • 法人名 • 法人名 (読みがな) 画面に表示するロゴを変更する場合は、次のどちらかを準備します。 <ul style="list-style-type: none"> • 画像ファイル • 画像ファイルの保存先を示す URL
ドキュメントルートディレクトリー	ガルーン 3 の HTML ファイルや画像ファイルなどを保存するディレクトリーです。
CGI 実行可能ディレクトリー	ガルーン 3 の CGI プログラムや、設定ファイルなどを保存するディレクトリーです。
インストール識別子	ガルーン 3 を識別するための文字列です。使用できる文字は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • 「a」から「z」までの、小文字のアルファベット • 「A」から「Z」までの、大文字のアルファベット • 「_」(アンダーバー) • 「0」から「9」までの数字 補足: <ul style="list-style-type: none"> • 先頭の文字に、数字は使用できません。 • 使用できる文字数は、最大 10 文字です。 • すでにほかのサイボウズ製品をインストールしている場合は、既存のインストール識別子と異なる識別子を指定してください。
データベース管理ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンを管理するユーザー (cbroot) のパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。
データベース接続ユーザーのパスワード	サイボウズ データベースエンジンに接続するユーザーのパスワードです。パスワードは厳重に管理してください。
タイムゾーンの情報	ガルーン 3 で利用するタイムゾーンの情報です。システムを利用するユーザーがいる場所のタイムゾーン情報を準備します。

標準データとサンプルデータとは

標準データやサンプルデータにはガルーン 3 の機能を理解するために、便利な情報やデータがまとめられています。初期化時に表示言語を日本語にした場合のみ、標準データとサンプルデータを利用できます。

標準データ

標準データには、祝日や予定メニューなどのデータが登録されています。ガルーン 3 にユーザーを新規で登録して使用する場合は、標準データのインストールを推奨します。

サンプルデータ

サンプルデータには、ユーザー、組織、予定などのデータが登録されています。サンプルデータに含まれるユーザーを使用して、ガルーン 3 の機能を試すことができます。

標準データ、サンプルデータを削除する

ガルーン 3 を初期化すると、標準データやサンプルデータを削除できます。

ガルーン 3 を初期化する方法は、2 通りあります。

注意

- ガルーン 3 を初期化すると、登録したデータもすべて削除されます。

コマンドラインからガルーン 3 を初期化する

1 コマンドラインを起動する

- 2 Windows 環境では、コマンドプロンプトから `grn_command.exe` が保存されている場所に移動する
Linux 環境では、コンソールから `grn_command` が保存されている場所に移動する

3 次のコマンドを実行する

Windows の例です。

```
grn_command.exe -f code%command%grn_initialize.csp db_admin_password='cybozu'  
db_user_password='cybozu' garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo'  
default_locale='ja'
```

初期化コマンドの説明

db_admin_password	データベース管理ユーザーのパスワードを入力します。
db_user_password	データベース接続ユーザーのパスワードを入力します。
garoon_admin_password	Administrator のパスワードを入力します。
default_timezone	タイムゾーンの情報を入力します。
default_locale	ロケールの情報です。利用する言語を、日本語、英語および中国語から選択します。

Web ブラウザーからガルーン 3 を初期化する

4 ガルーン 3 の画面を表示する

Windows: `http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/initialize`

Linux: `http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.exe/initialize`

5 「ガルーンシステムの初期化」画面で必要な項目を入力し、[初期化する]をクリックする

2.2 Windows 環境にインストールする

ガルーン 3 を Windows Server 2008 の 64bit 環境にインストールする手順を説明します。

次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: `C:\inetpub\scripts`
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: `C:\inetpub\wwwroot`

2.2.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーに Web サーバーをインストールして、CGI を実行できるように設定します。

「対応 Web サーバー」- 6 ページ

補足

- Webサーバーをインストールする手順については、弊社のWebサイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webinstall/>
- scriptsについては、弊社のWebサイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合は、次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サーバー マネージャ]の順に選択する
- 2 [役割] > [Web サーバー(IIS)] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャー]の順に選択する
- 3 「接続」画面から、[サイト] > [Default Web Site] > [scripts]を選択する

4 [ハンドラ マッピング]をクリックし、[CGI-exe]を選択し、編集をクリックする

5 「モジュール マップの編集」画面で、「実行可能ファイル(E):」に、grn.exe までのパスを入力し、[OK]をクリックする

例: C:\inetpub\scripts\cbgrn\grn.exe

6 「モジュール マップの編集」画面で、「この ISAPI 拡張機能を有効にしますか?」と表示される

7 [はい(Y)]をクリックする

補足

- 同じ仮想ディレクトリーに、scripts を使用するほかの exe ファイルがある場合は、各 exe ファイルに、スクリプト マップを設定する必要があります。

例: 初期値でデヂエを使用している場合は、次のスクリプト マップを追加します。

要求パス: db.exe

実行可能ファイル: C:\inetpub\scripts\cbdb\db.exe

名前: db.exe

- ISAPI 拡張機能を有効に設定すると、exe ファイルが CGI として動作することを許可します。

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合は次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。

1 [スタート] > [すべてのプログラム(P)] > [管理ツール] > [インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー]を選択する

2 [Web サイト] > [既定の Web サイト] > [scripts] を選択する

3 [scripts]を右クリックし、[新規作成] > [仮想ディレクトリ]を選択する

4 [次へ]をクリックし、「エイリアス(A):」に、cbgrn と入力する

5 「パス(P):」に、次のパスを入力し、[次へ]をクリックする

例: C:\inetpub\scripts\cbgrn

6 「ISAPI アプリケーションや CGI などを実行する(E)」のチェックボックスを選択して、[次へ]をクリックする

7 [完了]をクリックする

補足

- Windows Server 2008 の 64bit 環境で Apache を利用する場合、Apache のファイルは初期値では、次のディレクトリーに保存されます。
C:\Program Files (x86)\Cybozu

インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

2.2.2 インストールする

Windows 環境に、ガルーン 3 をインストールする手順を説明します。

注意

- インストール作業を開始する前に、すべての Windows プログラムを終了する必要があります。
- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したりガルーン 3 を別のサーバーに移行したりできません。
- 試用を除いて、1 台のサーバーに複数のガルーン 3 をインストールした状態での運用は避けてください。
- Microsoft Visual C++ 2008 SP1 再頒布可能パッケージがインストールされます。削除しないでください。

1 サーバマシンに、Administrator 権限を持つユーザーでログインする

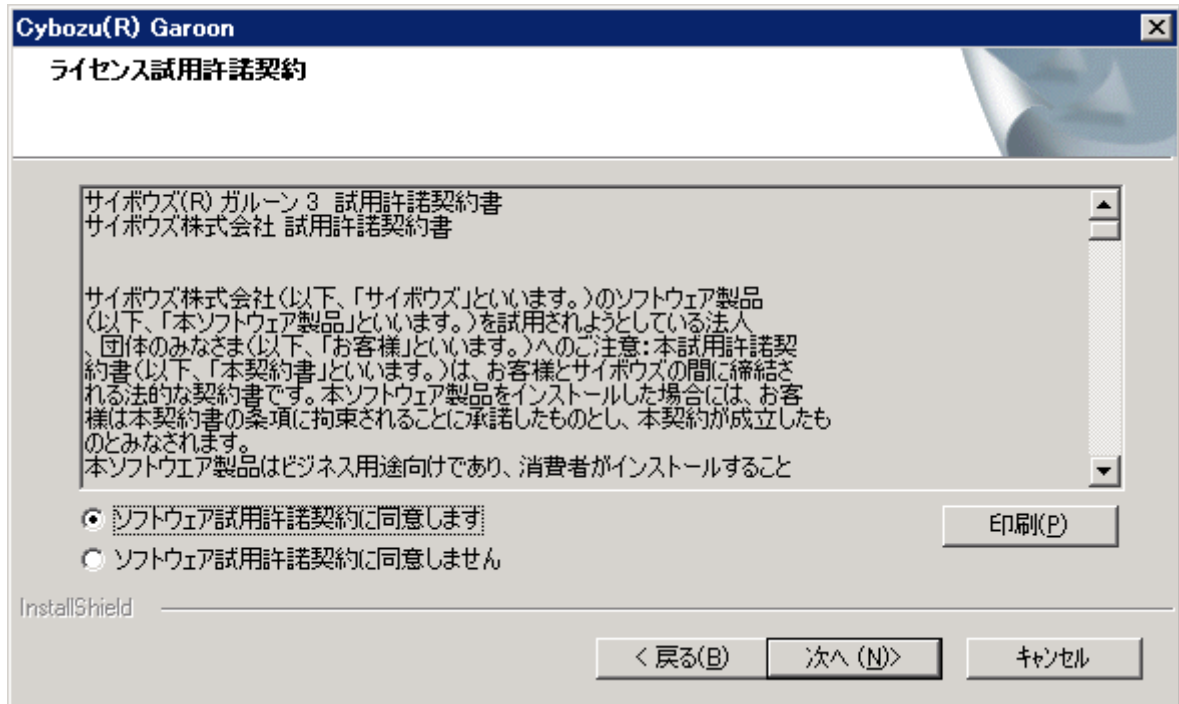
2 インストーラーを起動し、[次へ]をクリックする

インストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



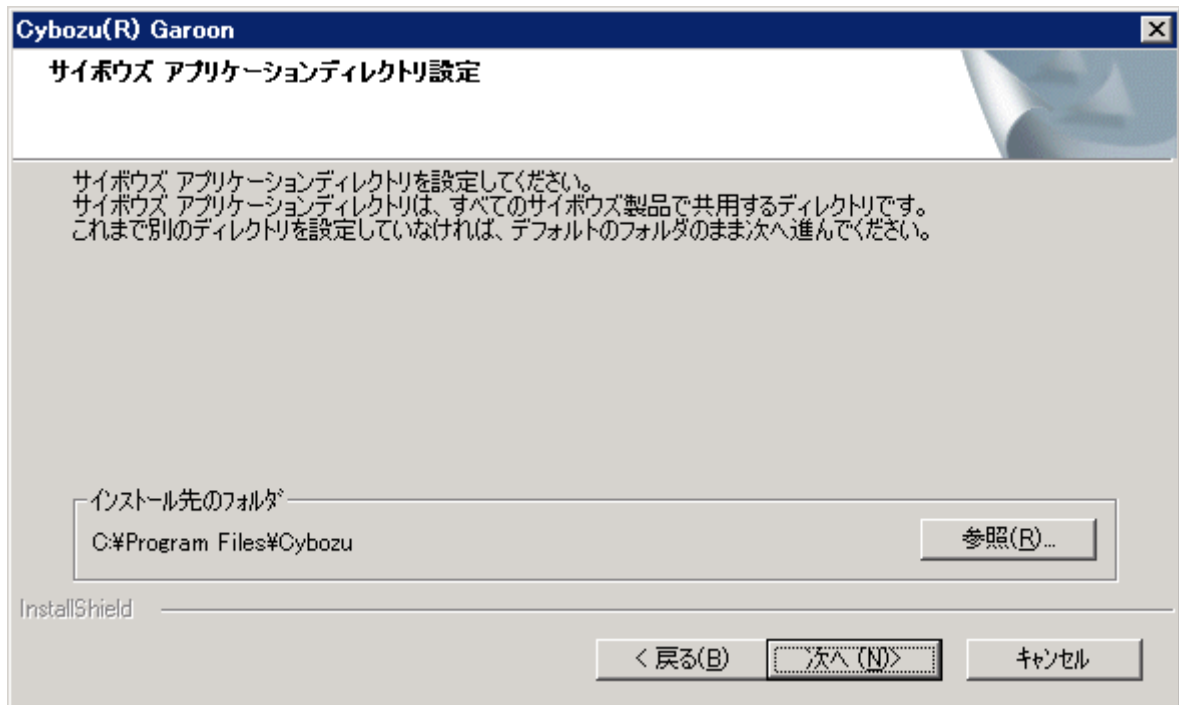
3 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「ソフトウェア試用許諾契約に同意します」を選択し、[次へ]をクリックする

試用許諾契約に同意しない場合は、[キャンセル]をクリックします。インストーラーが終了します。



4 サイボウズ アプリケーションディレクトリ設定を確認し、[次へ]をクリックする

サイボウズ アプリケーションディレクトリを変更する場合は、[参照]をクリックして、インストールディレクトリを指定します。



5 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、[次へ]をクリックする

6 インストール識別子を確認し、[次へ]をクリックする

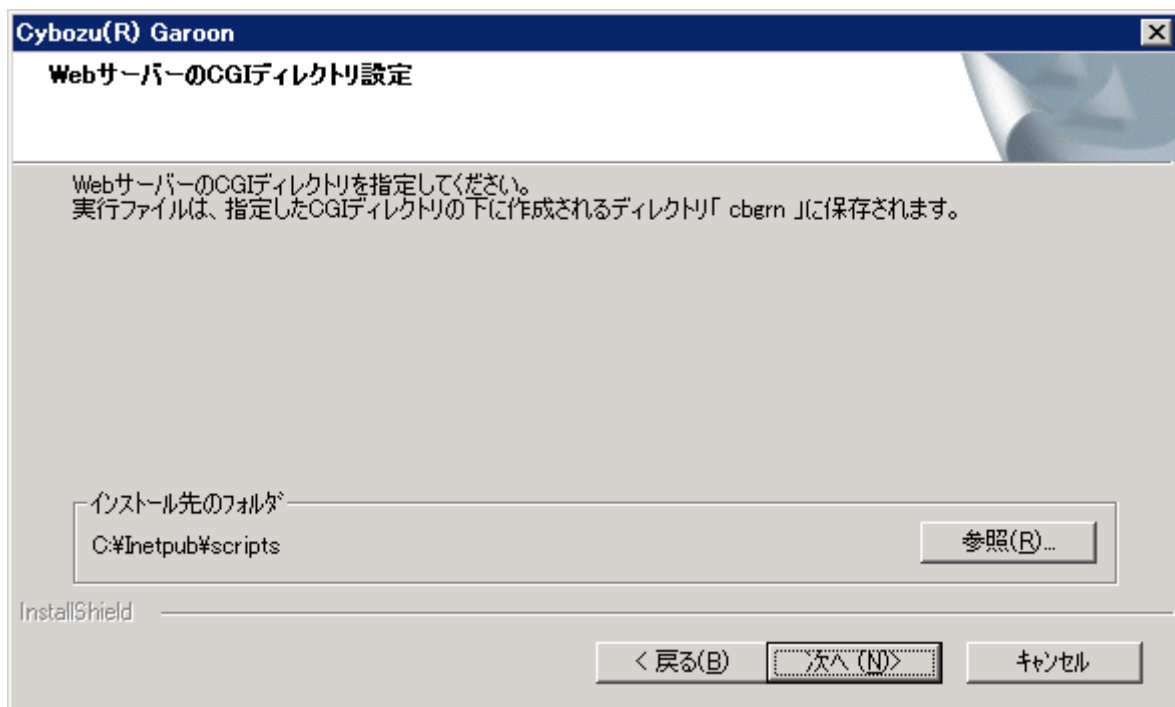
すでにサイボウズ製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。ここで入力したインストール識別子が、ガルーン 3 にアクセスする URL に使用されます。

IIS が起動していない、または IIS がインストールされていない場合は、「Web サーバーをインストールしますか？」と表示されます。[はい]をクリックすると、Apache がインストールされます。

「Webサーバーをインストールしていますか？」 - 11 ページ

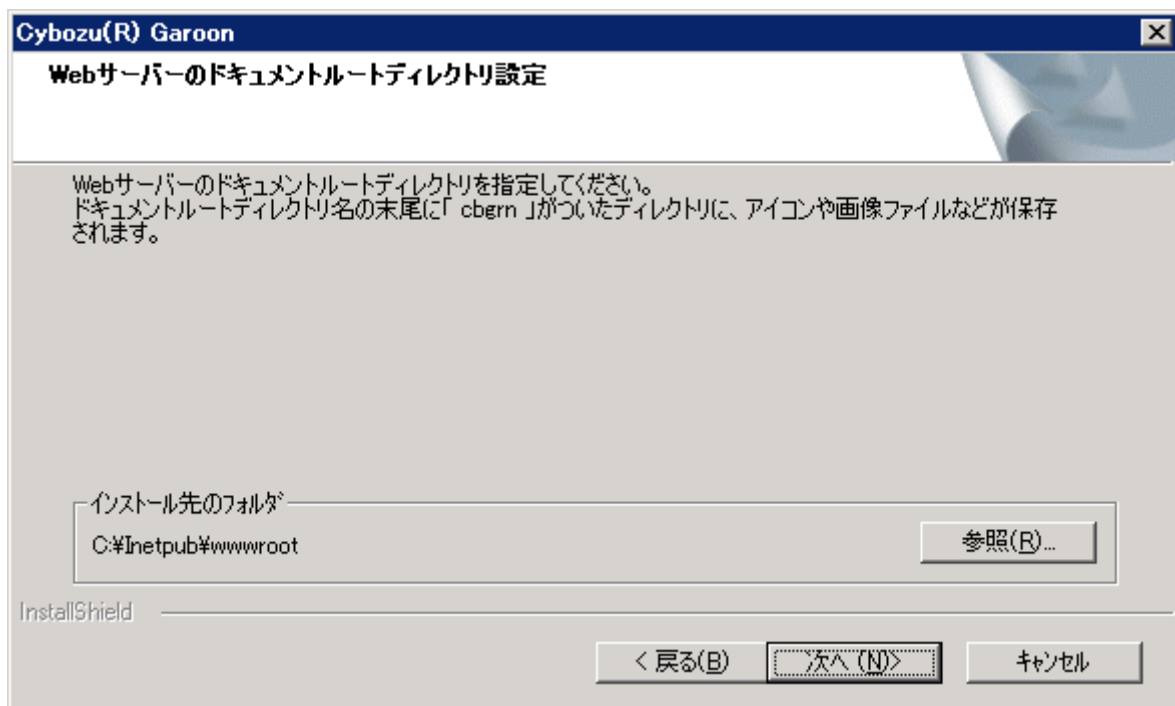
7 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、[次へ]をクリックする

CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリーを指定します。



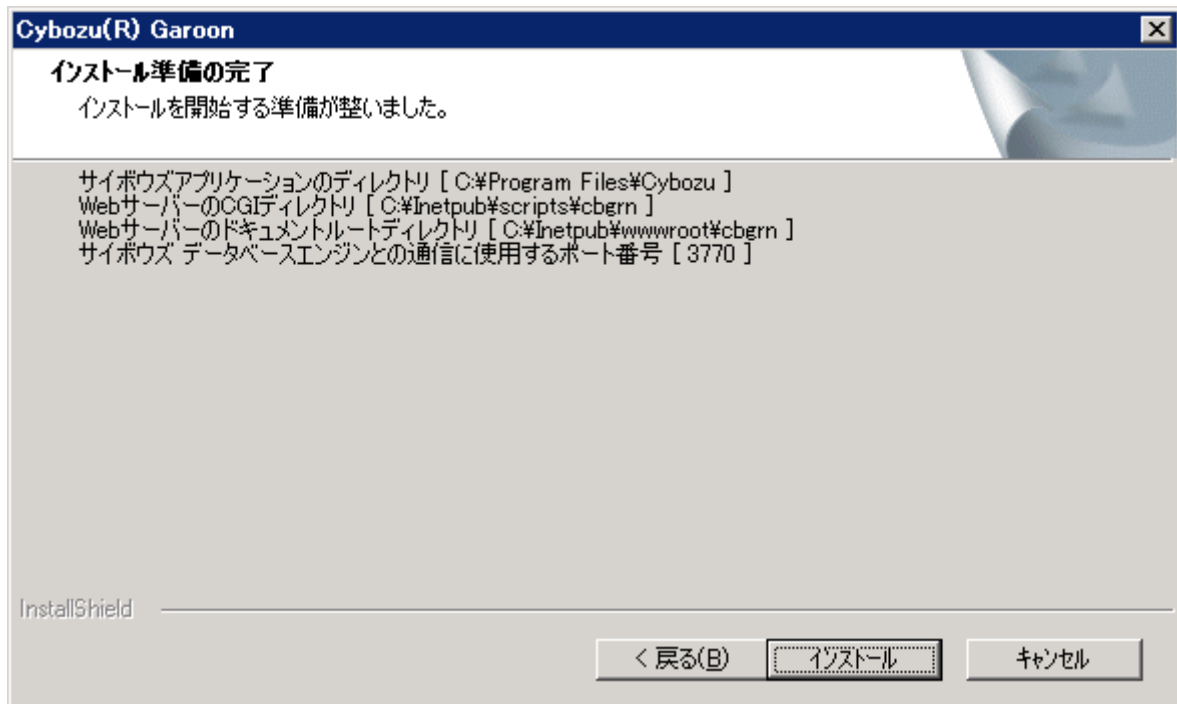
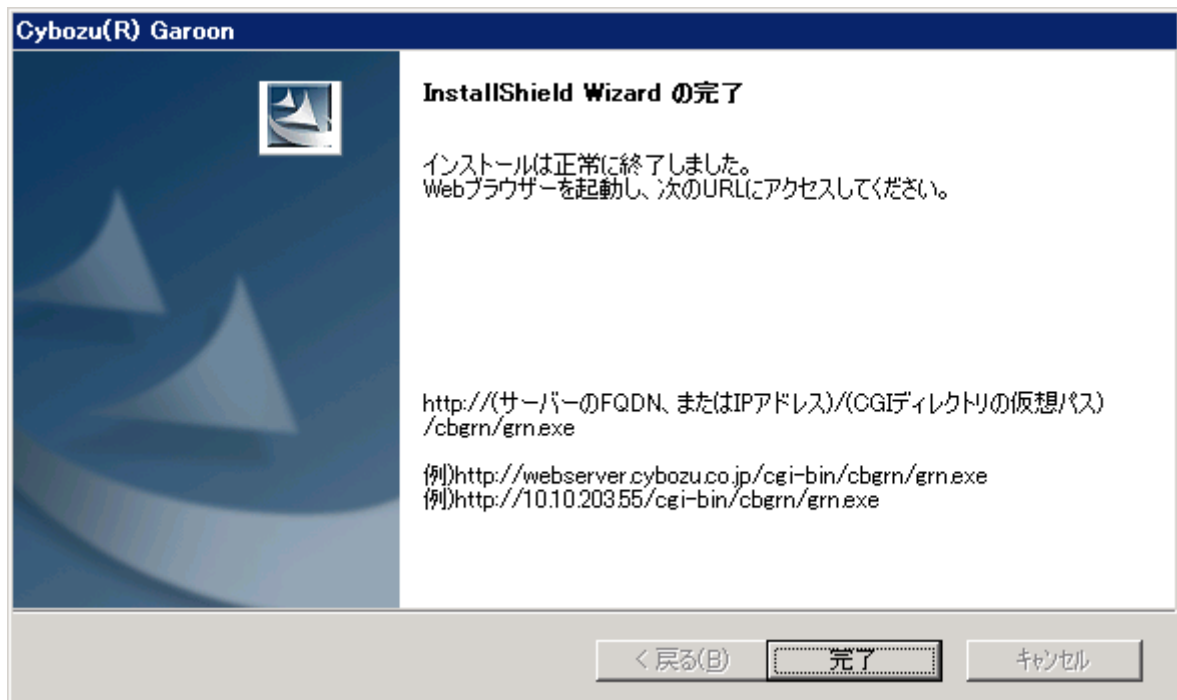
8 Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーを確認し、[次へ]をクリックする

ドキュメントルートディレクトリーを変更する場合は、[参照]をクリックしてディレクトリーを指定します。



9 表示されている内容を確認し、[インストール]をクリックする

インストールが始まります。

**10** 「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする**11** 「Cybozu(R) Garoon 3.1.0 のトップページにジャンプします。」と表示されたら、[OK]をクリックする

続いて、初期設定を行います。

「2.2.3 初期化する」 - 18 ページ

補足

- ガルーン 3 の URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認します。
 - IIS の「IUSR_<コンピュータ名>」がドキュメントルートディレクトリーにアクセスできることを確認します。
 - Web サーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されています。
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/>
- ガルーン 3 と CyDE2 のインストールログは、まとめて次の場所に出力されます。
インストールログの保存先: C:\WINDOWS\SystemWow64\cb_installer.log

Web サーバーをインストールする

Web サーバーがインストールされていない、または停止している場合は、「2.3.2 インストールする」の手順 6 のあとに、「Web サーバーをインストールしますか?」と表示されます。

- [はい]をクリックすると、Web サーバーがインストールされます。
- [いいえ]をクリックすると、Web サーバーとガルーン 3 のインストールを中止します。

補足

- ガルーン 3 のインストーラーを使用して Web サーバーをインストールした場合、初期設定では次のディレクトリーに Web サーバーがインストールされます。
 - CGI 実行可能ディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\cgi-bin
 - ドキュメントルートディレクトリー: C:\Program Files\Cybozu\Apache2.2\htdocs

2.2.3 初期化する

インストールが終了したら、ガルーン 3 の Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーン 3 を初期化します。

注意

- 初期化中またはデータのインストール中に、ほかの画面に移動しないでください。処理中にほかの画面に移動すると、初期化に失敗するおそれがあります。
- 標準データやサンプルデータを削除するには、ガルーン 3 を初期化する必要があります。初期化した場合、他のデータも削除されます。
「標準データ、サンプルデータを削除する」 - 10 ページ
- ロケールの初期設定を変更するには、ガルーン 3 を初期化する必要があります。ガルーン 3 を初期化すると、登録したデータもすべて削除されます。
- コマンドラインから初期化を行った場合は、標準データやサンプルデータをインストールできません。

1 2 通りの方法から、ガルーン 3 を初期化する方法を選択する

コマンドラインからガルーン 3 を初期化する

- grn_command.exe が保存されている場所に移動します。
- コマンドラインで、次のコマンドを入力し、ガルーン 3 を初期化します。

```
grn_command.exe -f code\command\grn_initialize.csp db_admin_password='cybozu'  
db_user_password='cybozu' garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo'  
default_locale='ja'
```

「初期化コマンドの説明」-10 ページ

Web ブラウザーからガルーン 3 を初期化する

- 次の URL にアクセスします。
http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/initialize
標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。
- 「ガルーンシステムの初期化」画面で必要な項目を入力し、[初期化する]をクリックします。

初期化画面の項目

項目	説明
データベース管理ユーザー	「cbroot」が表示されます。
データベース管理ユーザーのパスワード*	ガルーン 3 をインストールするときに設定したパスワードを入力します。
データベース接続ユーザー	「cb_インストール識別子」が表示されます。
データベース接続ユーザーのパスワード*	データベース接続ユーザーのパスワードを入力します。 「2.1 インストールの準備をする」 - 11 ページ
データベース接続ユーザーのパスワード(確認用) *	「データベース接続ユーザーのパスワード」と同じパスワードを入力します。
Administrator のパスワード	Administrator がガルーン 3 にアクセスするときに使用するパスワードを入力します。Administrator は、ガルーン 3 のシステム全体の管理権限を持つユーザー(スーパーユーザー)です。
Administrator のパスワード(確認用)	「Administrator のパスワード」と同じパスワードを入力します。

*: は必須項目です。

2 「言語」と「タイムゾーン」を選択し、[次へ]をクリックする

3 インストールするデータを選択し、[次へ]をクリックする

Web ブラウザーの表示言語を日本語に設定している場合のみ、データをインストールできます。ほかの表示言語を設定している場合は、この画面は表示されません。手順 5 に進みます。データをインストールしない場合、「何もインストールしない」を選択します。インストールできるデータについては、次のページを参照してください。

「標準データとサンプルデータとは」 -10 ページ

4 表示されたリンクをクリックし、システム管理画面とアプリケーション画面を確認する

Web ブラウザーに Internet Explorer を使用している場合は、[お気に入り追加]が表示されます。[お気に入り追加]をクリックすると、各画面へのリンクを Web ブラウザーのお気に入り追加できます。

5 ガルーン 3 の初期設定をする

「0 ガルーン 3 を使用するために必要な項目を設定する」 - 25 ページ

2.3 Linux 環境にインストールする

ガルーン 3 を Linux 64bit 環境にインストールする手順を説明します。

次の環境が使用されている場合を例に説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html

2.3.1 インストールの準備をする

次の内容を確認したあと、インストールを開始します。

Web サーバーをインストールしていますか？

サーバーにWebサーバーをインストールして、CGIが実行できるように設定します。
「対応Webサーバー」 - 6 ページ

注意

- Red Hat Enterprise Linux 6を初期値でインストールした場合、ガルーン 3をご利用いただけません。32Bit 互換ライブラリをインストールする必要があります。
詳細なインストール手順については、弊社 Web サイトを参照してください。
<http://manual.cybozu.co.jp/tech/installsetup.html>

補足

- Apache での推奨環境は、prefork です。

インストールに必要な情報を準備していますか？

Administrator のパスワードやインストール識別子などを準備します。
「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

SELinux は無効になっていますか？

SELinux が有効になっていると、ガルーン 3 は正常に動作しません。

2.3.2 インストールする

Linux 環境に、ガルーン 3 をインストールする手順を説明します。

注意

- Web サーバーをインストールしている場合は、Web サーバーが起動していることを確認します。
- データベース管理ユーザーのパスワードは厳重に管理してください。パスワードを忘れると、パスワードを再設定したり、ガルーン 3 を別のサーバーに移行したりできなくなります。
- 試用を除いて、1 台のサーバーに複数のガルーン 3 をインストールした状態での運用は避けてください。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインする

2 インストーラーが存在するディレクトリーに移動する

3 インストーラーを実行する

64bit のインストーラーが使用されている場合を例に説明します。

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.1.0-linux-x64.bin
```

4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押す

```
上記のメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。
```

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は「yes」を入力して、Enter キーを押す

画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。試用許諾契約に同意しない場合は、「no」を入力し、Enter キーを押します。インストーラーが終了します。

6 インストール識別子を入力し、Enter キーを押す

すでにサイボウズ製品をインストールしている場合は、重複しない識別子を使用します。
ここで入力したインストール識別子がガルーン 3 にアクセスする URL に使用されます。

インストール、アンインストール、またはバージョンアップする製品のインストール識別子を入力してください。

新規にインストールする場合は、他の製品と異なるインストール識別子を入力する必要があります。

使用できる文字は「a-z, A-Z, _」、またはその後に「0-9」をつけた文字列です。インストール識別子は 10 文字以内で入力してください。

バージョンアップまたはアンインストールする場合は、すでにインストールしている製品のインストール識別子を入力します。

[cbgrn]:

7 ガルーン 3 のプログラムとデータのインストールディレクトリーを確認し、Enter キーを押す

インストールディレクトリーを変更する場合、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

プログラムファイルのディレクトリーを指定してください。

データサイズが大きくなるため、ディスク空き容量に注意してください。

[/usr/local/cybozu]

8 データベース管理ユーザーのパスワードを入力し、Enter キーを押す

データベース管理ユーザーのパスワードを、確認も含めて 2 回入力します。

データベース管理ユーザー (cbroot) のパスワードを設定してください。

使用できる文字は「a-z, A-Z, 0-9, _」です。

パスワードは 6 文字以上、10 文字以内で入力してください。

New Password: cbadmin

Retype Password: cbadmin

9 Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリーを確認し、Enter キーを押す

CGI 実行可能ディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

CGI ディレクトリーを設定します。

インストール先は「(CGI ディレクトリー)/cbgrn」です。

例:/var/www/cgi-bin/cbgrn

[/var/www/cgi-bin]

10 Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーを確認し、Enter キーを押す

ドキュメントルートディレクトリーを変更する場合は、ディレクトリーを絶対パスで入力し、Enter キーを押します。

```
ドキュメントルートを指定してください。  
インストール先は「(ドキュメントルート)cbgrn」です。  
例:/var/www/html/cbgrn  
[/var/www/html]
```

11 Web サーバーの実行ユーザー名を確認し、Enter キーを押す

Web サーバーの実行ユーザー名が異なる場合、正しい実行ユーザー名を入力し、Enter キーを押します。

```
Web サーバーの実行ユーザー名を設定します。  
[apache]:
```

12 表示された内容を確認し、正しければ「yes」を入力して Enter キーを押す

インストールが始まります。

「no」を入力し、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

```
Summary of install configuration  
  
プログラムのインストール先:/usr/local/cybozu  
データベース管理ユーザー:cbroot  
インストール識別子:cbgrn  
Web サーバーの実行ユーザー:apache  
CGI プログラムのインストール先:/var/www/cgi-bin/cbgrn  
画像ファイルのインストール先:/var/www/html/cbgrn  
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート番号:3770  
スケジューリングサービス起動スクリプト:/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn  
アプリケーション削除スクリプト:/var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn  
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト:/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0  
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト:/usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0  
  
上記の設定でインストールします。よろしいですか？  
[yes or not]: yes
```

13 インストールが正常に終了したことを確認する

```
Installing Cybozu Database Engine.  
Installing CGI.  
Installing Cybozu Scheduling Service.  
Installing Web files  
Copying license files.
```

Installing uninstall scripts.

インストールが正常に終了しました。

Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

`http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi`

例) `http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi`

例) `http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi`

`[root@garoon admin]#`

補足

- ガルーン 3 の URL にアクセスしても正常に画面が表示されない場合は、次の内容を確認してください。
 - Web サーバーのドキュメントルートディレクトリーのアクセス権が正しく設定されている。
 - Webサーバーに仮想ディレクトリーが正しく設定されている。
仮想ディレクトリーの作成方法は、弊社Webサイトを参照してください。
`http://manual.cybozu.co.jp/tech/webalias/`
 - SELinux が無効になっている。
- ガルーン 3 と CyDE2 のインストールログは、次の場所に出力されます。
 - ガルーン 3 のインストールログ: (インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
 - CyDE2 のインストールログ: (インストーラーを実行したディレクトリー)/install_cyde.log

2.3.3 初期化する

インストールが終了したら、ガルーン 3 の Administrator のパスワードと、データベース接続ユーザーのパスワードを設定し、ガルーン 3 を初期化します。

注意

- 初期化中またはデータのインストール中に、ほかの画面に移動しないでください。処理中にほかの画面に移動すると、初期化に失敗するおそれがあります。
- 標準データやサンプルデータを削除するには、ガルーン 3 を初期化する必要があります。ガルーン 3 を初期化すると、登録したデータもすべて削除されます。
「標準データ、サンプルデータを削除する」-10 ページ
- ロケールの初期設定を変更するには、ガルーン 3 を初期化する必要があります。ガルーン 3 を初期化すると、登録したデータもすべて削除されます。
- コマンドラインから初期化を行った場合は、標準データやサンプルデータをインストールできません。

1 2通りの方法から、ガルーン 3を初期化する方法を選択する

コマンドラインからガルーン 3を初期化する

- grn_command が保存されている場所に移動します。
- コマンドラインで、次のコマンドを入力し、ガルーン 3を初期化します。

```
grn_command -f code/command/grn_initialize.csp db_admin_password='cybozu'
db_user_password='cybozu' garoon_admin_password='cybozu' default_timezone='Asia/Tokyo'
default_locale='ja'
```

「初期化コマンドの説明」-10 ページ

Web ブラウザーからガルーン 3を初期化する

- 次の URL にアクセスします
[http://\(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名\)/cgi-bin/cbgrn/grn.exe/initialize](http://(インストールしたサーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.exe/initialize)
 標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3をインストールした場合を例として説明しています。
- 「ガルーンシステムの初期化」画面で必要な項目を入力し、[初期化する]をクリックします。

初期化画面の項目

項目	説明
データベース管理ユーザー	「cbroot」が表示されます。
データベース管理ユーザーのパスワード*	ガルーン 3をインストールするときに設定したパスワードを入力します。
データベース接続ユーザー	「cb_インストール識別子」が表示されます。
データベース接続ユーザーのパスワード*	データベース接続ユーザーのパスワードを入力します。 「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ
データベース接続ユーザーのパスワード(確認用)*	「データベース接続ユーザーのパスワード」と同じパスワードを入力します。
Administrator のパスワード	Administrator がガルーン 3にアクセスするときに使用するパスワードを入力します。Administrator は、ガルーン 3 のシステム全体の管理権限を持つユーザー(スーパーユーザー)です。
Administrator のパスワード(確認用)	Administrator のパスワード」と同じパスワードを入力します。

*: は必須項目です。

2 「言語」と「タイムゾーン」を選択し、[次へ]をクリックする

3 インストールするデータを選択し、[次へ]をクリックする

Webブラウザの表示言語を日本語に設定している場合のみ、データをインストールできます。ほかの表示言語を設定している場合は、この画面は表示されません。手順 5 に進みます。データをインストールしない場合、「何もインストールしない」を選択します。インストールするデータについては、次のページを参照してください。

「標準データとサンプルデータとは」 -10 ページ

4 表示されたリンクをクリックし、システム管理画面とアプリケーション画面を確認する

Web ブラウザーに Internet Explorer を使用している場合は、[お気に入り追加]が表示されます。[お気に入り追加]をクリックすると、各画面へのリンクを Web ブラウザーのお気に入り追加できます。

5 ガルーン 3 の初期設定をする

「0 ガルーン 3 を使用するために必要な項目を設定する」 - 25 ページ

2.4 ガルーン 3 を使用するために必要な項目を設定する

ガルーン 3 の初期化が終了したら、お客様情報やシステム管理者の情報を登録します。

2.4.1 お客様情報を登録する

ガルーン 3 のシステム管理画面にアクセスし、お客様情報を登録します。

1 次のどちらかの方法で、システム管理画面にアクセスする

- 初期化が完了したあとに表示される画面で、[システム管理画面へ]をクリックする
- 次のどちらかの URL にアクセスする

Windows 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/scripts/cbgrn/grn.exe/system/index`

Linux 環境: `http://(サーバーの IP アドレスまたはホスト名)/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi/system/index`

2 Administrator のログイン名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックする

3 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [お客様情報] > [お客様情報の確認]の順にクリックする

4 「お客様情報の確認」画面で、[変更する]をクリックする

5 「お客様情報の変更」画面で、必要な項目を設定し、[変更する]をクリックする

設定する項目は、次のとおりです。

法人名: 法人名を入力します。

法人名(よみ): 法人名の読みを入力します。

ロゴ(URL): Web サーバー上の画像をロゴとして指定する場合に、URL を入力します。

ロゴ(ファイル): パソコンに保存されている画像をロゴとして指定する場合に、ファイルを指定します。

注意

- ロゴに使う画像をファイル形式で指定した場合、ユーザーがガルーン 3 にアクセスするたびに、画像がサーバーから取り込まれます。その結果、サーバーに負荷が掛かり、パフォーマンスが低下するおそれがあります。ロゴの画像ファイルは、URL で指定することを推奨します。

2.4.2 システム管理者を指定する

ユーザーに Administrator ロールを付与し、システム管理者として指定します。

ユーザーを追加する

ガルーン 3 を使用するユーザーを追加します。

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [組織/ユーザーの設定]の順にクリックする
- 2 「組織/ユーザーの設定」画面で、[ユーザーを追加する]をクリックする
- 3 「ユーザーの追加」画面で、必要な項目を入力し、[追加する]をクリックする
登録したユーザーは「(組織に未所属のユーザー)」に所属します。

ユーザー情報の入力項目

項目	説明
名前 *	ユーザーの名前を入力します。標準には、ドロップダウンリストから日本語、English、中文のいずれかの言語を選択し、ユーザーの名前を入力します。英語表記には、ユーザーの名前をアルファベットで入力します。
ログイン名 *	ユーザーのログイン名を入力します。ほかのユーザーとは異なるログイン名を入力します。
パスワード	ユーザーのパスワードを入力します。
パスワード(確認)	確認用にユーザーのパスワードを入力します。
ロケール	ロケールを選択します。「ロケールの設定」画面に、ロケールが登録されていない場合は、選択できません。
拠点	拠点を選択します。「拠点の設定」画面に拠点が登録されていない場合は、選択できません。
所属組織	ユーザーが所属する組織が表示されます。[所属する組織を変更する]をクリックすると、所属する組織を変更できます。
優先する組織	優先する組織を選択します。
表示優先度	ユーザーの一覧画面で表示されるユーザーの表示順を「0(ゼロ)」以上の整数で入力します。ユーザーは表示優先度の昇順で表示されます。表示優先度が重複するユーザーは、グループ 3 に登録された順に表示されます。
使用の停止	アカウントを停止する場合、チェックを入れます。チェックを入れると、そのユーザーはグループ 3 にアクセスできません。
よみ	ユーザーの名前のよみを入力します。
E-mail	ユーザーの E-mail アドレスを入力します。
メモ	ユーザーに関するメモを入力します。
役職	ユーザーの役職を入力します。
連絡先	ユーザーの連絡先を入力します。
URL	ユーザーまたはユーザーに関連する Web サイトの URL を入力します。
画像	「ユーザー情報の詳細」画面に表示する画像ファイルを指定します。

*: は必須項目です。

ユーザーをシステム管理者に指定する

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ユーザー] > [ロールの設定]の順にクリックする
- 2 「ロールの設定」画面で、[Administrators] > [ロールを所持させる]の順にクリックする
- 3 「ロールの所持」画面のツリー表示で、ユーザーの所属する組織を選択する

4 システム管理者に指定するユーザーを選択し、[追加]をクリックする

候補に追加したユーザーを解除する場合、下の欄で解除するユーザーを選択し、[削除]をクリックします。

5 [所持させる]をクリックする**2.4.3 サイボуз データベースエンジンの設定を変更する**

サーバーマシンの搭載メモリー量が 4GB 以上の場合は、mysqld の設定を変更します。mysqld の設定を変更するには、サイボуз データベースエンジンの設定ファイル(my.ini)を変更します。

サイボуз データベースエンジンがインストールされているサーバーマシンの搭載メモリー量によって、my.ini ファイルの設定値が異なります。

my.ini の推奨値

搭載メモリー量		メモリー					
		4~8GB	8~12GB	12~16GB	16~24GB	24~48GB	48GB 以上
ガルーン 3 の使用メモリー量		2GB	5.2GB	8.4GB	12GB	18GB	36GB
my.ini ファイル の設定値	sort_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	join_buffer_size	3M	3M	3M	3M	3M	3M
	read_buffer_size	1M	1M	1M	1M	1M	1M
	read_rnd_buffer_size	2M	2M	2M	2M	2M	2M
	thread_cache_size	50	50	50	50	50	50
	max_connections	50	50	50	50	50	50
	innodb_buffer_pool_size	1500M	4500M	7800M	11500M	17600M	36100M

注意

- OS やほかのシステムが使用するメモリー量を考慮し、サーバーマシンで使用するメモリー量の合計が、サーバーマシンの搭載メモリー量以下になるように、my.ini ファイルを変更します。

補足

- my.iniファイルの設定についての詳細は、オフィシャルパートナーまたは販売元にお問い合わせください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>
- サーバーマシンの搭載メモリー量が 4GB未満の場合は、mysqldは自動的に設定されます。

my.ini ファイルを変更する

my.ini ファイルを設定する手順を、Windows と Linux に分けて説明します。

Windows 環境

- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
「cbgrn」の値は、インストール識別子によって異なります。

- 3 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 4 my.ini ファイルをバックアップする
既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。
C:¥Program Files¥Cybozu¥mysql-5.0¥etc¥my.ini
- 5 my.ini ファイルの値を変更する
「my.iniの推奨値」 - 27 ページ
- 6 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
- 7 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックする

Linux 環境

- 1 スケジューリングサービスを停止する
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn stop
- 2 サイボウズ データベースエンジンを停止する
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 stop
- 3 my.ini ファイルをバックアップする
既定のディレクトリーにインストールした場合は、my.ini のファイルの場所は次のとおりです。
/usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini
- 4 my.ini ファイルの値を変更する
「my.iniの推奨値」 - 27 ページ
- 5 サイボウズ データベースエンジンを起動する
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 start
- 6 スケジューリングサービスを起動する
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn start

3章 バージョンアップする

バージョン 3.1.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

注意

- バージョンアップ後に必要な作業は、バージョンアップ前のバージョンによって異なります。
- ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.1.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。弊社のWebサイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>
- バージョンアップする前に、運用中のガルーンのデータを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「ガルーン 3 の保守」を参照してください。
- バージョンアップの処理中は、バージョンアップを中止しないでください。

補足

- バージョンアップには、ガルーン 3 のインストーラーを使用します。最新版のプログラムとマニュアルは、弊社のWebサイトからダウンロードできます。サーバーのOSにあわせてダウンロードしてください。次の弊社Webサイトは、日本語で記載されています。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>
- Windows Server 2008 の 64bit環境で、Apacheを利用する場合、Apacheのファイルは初期値では、次のディレクトリーに保存されます。
C:¥Program Files (x86)¥Cybozu
- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

3.1 Windows 環境でバージョンアップする

次の環境が使用されている場合を例に、Windows 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー:IIS 7.0
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー:C:¥inetpub¥scripts
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー:C:¥inetpub¥wwwroot
- 既定のインストール識別子:cbgrn

3.1.1 バージョンアップの準備をする

Windows 環境で、バージョン 3.1.0 のガルーンにバージョンアップするには次の設定が必要です。

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合

Windows Server 2008 環境で、IIS7 を利用する場合は、次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サーバー マネージャ]の順に選択する

- 2 [役割] > [Web サーバー(IIS)] > [インターネット インフォメーション サービス(IIS) マネージャー]の順に選択する
- 3 「接続」画面から、[サイト] > [Default Web Site] > [scripts]を選択する
- 4 [ハンドラ マッピング]をクリックし、[CGI-exe]を選択し、編集をクリックする
- 5 「モジュール マップの編集」画面で、「実行可能ファイル(E):」に、grn.exe までのパスを入力し、[OK]をクリックする
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn\grn.exe
- 6 「モジュール マップの編集」画面に、「この ISAPI 拡張機能を有効にしますか?」と表示される
- 7 [はい(Y)]をクリックする

補足

- 同じ仮想ディレクトリーに、scripts を使用するほかの exe ファイルがある場合は、各 exe ファイルに、スクリプト マップを設定する必要があります。

例: 初期値でデチエを使用している場合は、次のスクリプト マップを追加します。

要求パス: db.exe 実行可能ファイル: C:\inetpub\scripts\cbdb\db.exe 名前: db.exe
--

- ISAPI 拡張機能を有効に設定すると、exe ファイルが CGI として動作することを許可します。

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合

Windows Server 2003 環境で、IIS6 を利用する場合は次の設定が必要です。標準のインストール先ディレクトリーに、ガルーン 3 をインストールした場合を例として説明しています。

- 1 [スタート] > [すべてのプログラム(P)] > [管理ツール] > [インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャー]を選択する
- 2 [Web サイト] > [既定の Web サイト] > [scripts] を選択する
- 3 [scripts]を右クリックし、[新規作成] > [仮想ディレクトリ]を選択する
- 4 [次へ]をクリックし、「エイリアス(A):」に、cbgrn と入力する
- 5 「パス(P):」に、次のパスを入力し、[次へ]をクリックする
例: C:\inetpub\scripts\cbgrn
- 6 「ISAPI アプリケーションや CGI などを実行する(E)」のチェックボックスを選択して、[次へ]をクリックする
- 7 [完了]をクリックする

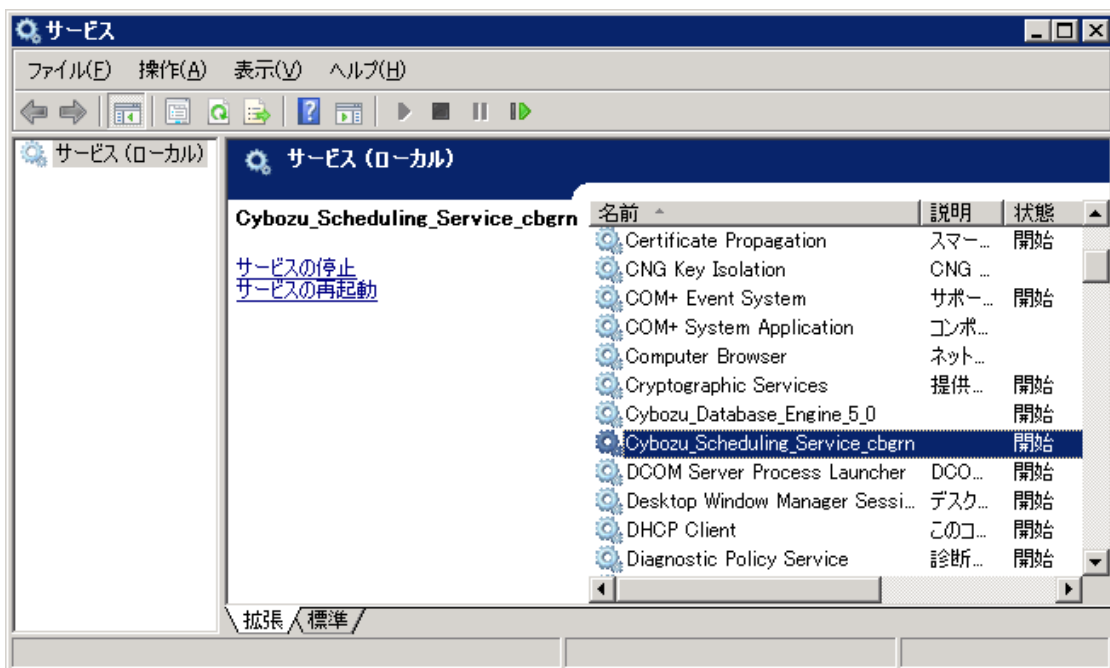
補足

- Windows Server 2008 の 64bit 環境で Apache を利用する場合、Apache のファイルは初期値では、次のディレクトリに保存されます。
C:\Program Files (x86)\Cybozu

3.1.2 バージョンアップする

Windows 環境で、バージョン 3.1.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

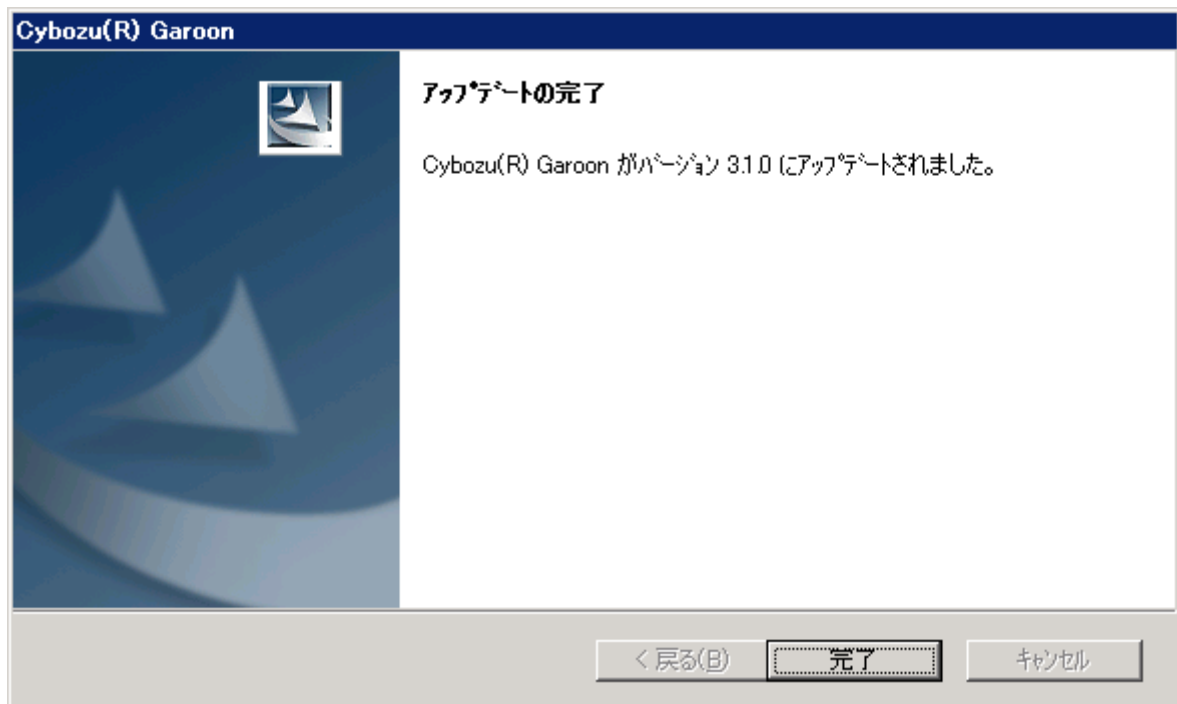
- ガルーン 3 がインストールされているサーバーマシンに、Administrator 権限を持つユーザーでログインする運用中のガルーンのデータをバックアップします。
バックアップについては『管理者マニュアル』の「ガルーン 3 の保守」を参照してください。
- サーバーマシンの Web サーバーを停止する
- Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする



- Windows のスタートメニューから、[コントロール] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
サイボウズ データベースエンジンが起動したら、必ずサービスのウィンドウを閉じてください。ウィンドウを開いたままバージョンアップを進めると、バージョンアップに失敗するおそれがあります。
- バージョン 3.1.0 のガルーンのインストーラーを起動する
- 「検出された製品の確認」画面で「下で選択した製品をアップデートする」を選択する

9 バージョンアップする製品を選択し、[次へ]をクリックする

10 「アップデートの完了」画面で、[完了]をクリックする



11 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する

12 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」が起動していることを確認する

スケジューリングサービスの状態が「開始」であることを確認します。

13 サーバマシンの Web サーバーを起動する

14 更新プログラムを実行する

ガルーンを、バージョン 3.0.0 以降から 3.1.0 にバージョンアップする場合は、上書きインストールできます。更新プログラムは、使用しません。

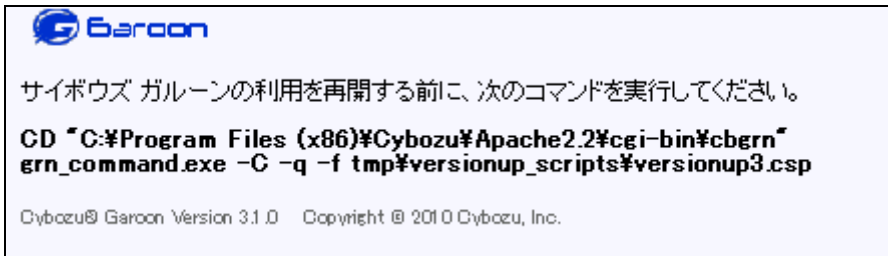
「3.1.3 更新プログラムを実行する」 - 34 ページ

補足

- バージョンアップ中に次のメッセージが表示された場合、バージョンアップの必要はありません。[いいえ(N)]をクリックし、バージョンアップを中止します。
「Cybozu(R) Garoon のバージョン 3.1.0 がすでにインストールされています。」
- バージョンアップを実行すると、ログは次の場所に出力されます。
 - ガルーン 3 および CyDE2 のインストールログ: C:\%WINDOWS%\SysWow64\cb_installer.log
 - バージョンアップログ: C:\%WINDOWS%\SysWow64\cb_versionup.log
 - 初期化のログ: C:\%WINDOWS%\SysWow64\cb_versionup_after.log
 - MySQL のバージョンアップログ: C:\%WINDOWS%\SysWow64\cb_versionup_mark.logバージョン 2.5.x からバージョン 3.0.0 以降にガルーンをバージョンアップした場合は、上記のログが出力されません。

3.1.3 更新プログラムを実行する

ガルーンを、バージョン 2.5.x から 3.0.0 以降へバージョンアップした場合は、バージョンアップ終了後に更新プログラムを実行します。更新プログラム (versionup3.csp) を実行する前にガルーン 3 にアクセスすると、次の画面が表示されます。



更新プログラムが正常に終了すると、versionup3.csp は削除されます。更新プログラムを実行するには、コマンドラインを使用します。次の設定を例として、手順を説明します。

- 既定のディレクトリー: C:¥inetpub¥scripts
- インストール識別子: cbgrn

- 1 サーバマシンに、Administrator 権限を持つユーザーでログインする
- 2 サーバマシンの Web サーバーを停止する
- 3 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 4 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 5 コマンドプロンプトを起動する
- 6 カレントディレクトリーを grn_command.exe が配置されているディレクトリーに変更する

```
cd C:¥inetpub¥scripts¥cbgrn
```
- 7 更新プログラムを実行する

```
grn_command.exe -f tmp¥versionup_scripts¥versionup3.csp
```
- 8 データベース管理ユーザーのパスワードを入力する
「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ
- 9 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 10 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
- 11 サーバマシンの Web サーバーを起動する
- 12 実行結果をログファイルで確認する
「3.3.1 ログを確認する」 - 39 ページ

バージョンアップ前の製品のバージョンによっては、バージョンアップ後に必要な作業があります。

「3.3 バージョンアップ後に必要な操作」 - 39 ページ

3.2 Linux 環境でバージョンアップする

次の環境が使用されている場合を例に、Linux 環境でバージョンアップする手順を説明します。

- Web サーバー: Apache
- Web サーバーの CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- Web サーバーのドキュメントルートディレクトリー: /var/www/html
- 既定のインストール識別子: cbgrn

注意

- バージョンアップ後に必要な作業は、元のバージョンによって異なります。
- ガルーンを、バージョン 2.1.3 以前から 3.1.0 にバージョンアップする場合は、専用のプログラムを使用します。弊社のWebサイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/versionup/>
- バージョンアップする前に、運用中のガルーンのデータを必ずバックアップしてください。バックアップについては、『管理者マニュアル』の「ガルーン 3 の保守」を参照してください。
- バージョンアップの処理中は、バージョンアップを中止しないでください。
- Web サーバーの実行ユーザーが実行および書き込み可能なディレクトリーに、インストーラーを配置します。配置するディレクトリーまでのすべてのディレクトリーに、実行権限および書き込み権限が必要です。

補足

- バージョンアップには、ガルーン 3 のインストーラーを使用します。弊社のWebサイトから、最新版のプログラムとマニュアルをダウンロードできます。サーバーのOSにあわせてダウンロードしてください。次の弊社Webサイトは、日本語で記載されています。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/download/>
- 作業に不安がある場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

3.2.1 バージョンアップする

Linux 環境で、バージョン 3.1.0 のガルーンにバージョンアップする手順を説明します。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインする

2 サーバマシンの Web サーバーを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd stop
```

3 スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn stop
```

4 サイボウズ データベースエンジンを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyde_5_0 start
```

5 インストーラーが存在するディレクトリーに移動する

6 インストーラーを実行する

64bit のインストーラーを使用した場合の例です。

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.1.0-linux-x64.bin
```

7 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押す

上記のメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

8 試用許諾契約に同意する場合は yes と入力し、Enter キーを押す

試用許諾契約に同意しない場合は no を入力し、Enter キーを押します。バージョンアップを終了します。画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

9 バージョンアップするガルーンのインストール識別子を確認する

10 インストール識別子を入力し、Enter キーを押す

11 「1」を入力し、Enter キーを押す

通常アンインストールする場合は「2」を、完全アンインストールする場合は「3」を入力し、Enter キーを押します。

12 表示された内容を確認し、正しければ yes と入力して、Enter キーを押す

インストールが始まります。

no を入力して、Enter キーを押すと、インストールが終了します。

```
Summary of install configuration
```

```
プログラムのインストール先: /usr/local/cybozu
```

```
データベース管理ユーザー: cbroot
```

```
インストール識別子: cbgrn
```

```
Web サーバーの実行ユーザー: apache
```

```
CGI プログラムのインストール先: /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

```
画像ファイルのインストール先: /var/www/html/cbgrn
```

```
サイボウズ データベースエンジンとの通信に使用するポート: 3770
```

```
スケジューリングサービス起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn
```

```
製品の削除スクリプト: /var/www/cgi-bin/cbgrn/uninstall_cbgrn
```

```
サイボウズ データベースエンジン起動スクリプト: /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
```

```
サイボウズ データベースエンジン削除スクリプト: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/uninstall_cyde_5_0
```

```
上記の設定でインストールします。よろしいですか？
```

```
[yes or no]: yes
```

13 バージョンアップが正常に終了したことを確認する

```
Installing Cybozu Database Engine.  
Installing CGI.  
Installing Cybozu Scheduling Service.  
Installing Web files  
Copying license files.  
Installing uninstall scripts.
```

インストールが正常に終了しました。

Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスしてください。

`http://(サーバーの FQDN、または IP アドレス)/(CGI ディレクトリーの仮想パス)/cbgrn/grn.cgi`

例) `http://webserver.cybozu.co.jp/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi`

例) `http://10.10.203.55/cgi-bin/cbgrn/grn.cgi`

```
[root@garoon admin]#
```

14 スケジューリングサービスが起動したことを確認する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/cyss_cbgrn status
```

15 サーバーマシンの Web サーバーを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd start
```

16 更新プログラムを実行する

ガルーンを、バージョン 3.0.0 以降からバージョン 3.1.0 にバージョンアップする場合は、上書きインストールできます。更新プログラムは、使用しません。

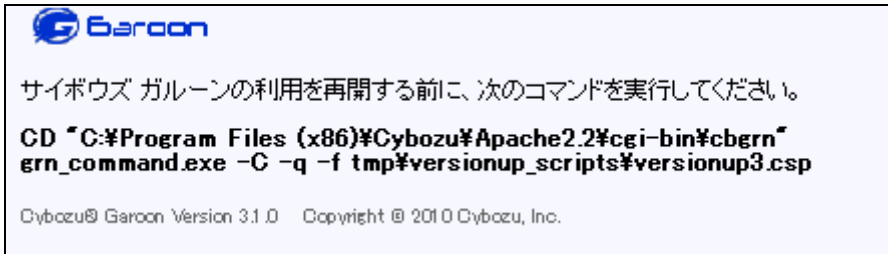
「3.2.2 更新プログラムを実行する」38-ページ

補足

- バージョンアップを実行すると、ログが出力されます。ログの出力先は次のとおりです。
- ガルーン 3 のインストール結果:/(インストーラーを実行したディレクトリー)/install.log
- CyDE2 のインストール結果:/(インストーラーを実行したディレクトリー)/install_cyde.log

3.2.2 更新プログラムを実行する

バージョン 2.5.x からバージョン 3.0.0 以降へガルーンをバージョンアップした場合は、バージョンアップ終了後に更新プログラムを実行します。更新プログラム (versionup3.csp) を実行する前にガルーン 3 にアクセスすると、次の画面が表示されます。



更新プログラムが正常に終了すると、versionup3.csp は削除されます。

コマンドラインで更新プログラムを実行します。次の設定を例として、手順を説明します。

- 既定の CGI 実行可能ディレクトリー: /var/www/cgi-bin
- インストール識別子: cbgrn

1 コンソールを起動する

2 サーバマシンに、root ユーザーでログインする

3 サーバマシンの Web サーバを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd stop
```

4 スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn stop
```

5 カレントディレクトリーを grn.cgi が配置されているディレクトリーに変更する

```
[root@garoon admin]# cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

6 更新プログラムを実行する

```
[root@garoon admin]# ./grn_command -f tmp/versionup_scripts/versionup3.csp
```

7 データベース管理ユーザーのパスワードを入力する

「2.1 インストールの準備をする」 - 9 ページ

8 スケジューリングサービスを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn start
```

9 サーバマシンの Web サーバを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/init.d/httpd start
```

10 実行結果をログファイルで確認する

バージョンアップ前の製品のバージョンによっては、バージョンアップ後に必要な作業があります。

3.3 バージョンアップ後に必要な操作

バージョンアップ前の製品のバージョンによって、製品を使用する前に必要な設定が違います。次の各項目で説明します。

注意

- バージョンアップしたあとに、データベースサーバー設定ファイル(my.ini)の値を変更することを推奨します。my.ini ファイルに適切な値を設定すると、データベースサーバーのパフォーマンスが向上することがあります。
「5 サイボウズ データベースエンジンの設定を変更する」 - 27 ページ

3.3.1 ログを確認する

ファイルの更新が正常に終了したかどうかを確認するために、ログファイルで確認します。

ログファイルには、次の結果が出力されます。

- MySQL の更新結果
- ガルーン 3 で使用するデータの更新結果
- 更新プログラムの実行結果

既定のディレクトリーにガルーン 3 をインストールしている場合は、次のファイルにログが出力されます。
は 3 桁の数字を表します。

- Windows 環境の場合
更新プログラムの実行結果: C:\inetpub\scripts\cbgrn\versionup_###.log
MySQL のエラー: C:\ProgramFiles\Cybozu\mysql-5.0\data\error.log
- Linux 環境の場合
更新プログラムの実行結果: /var/www/cgi-bin/cbgrn/versionup_###.log
MySQL のエラー: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/data/error.log

versionup_###.log の見かた

Windows 環境で出力される versionup_###.log の例として説明します。

```

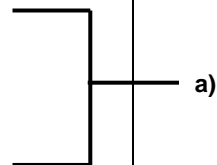
[Tue, 13 Jul 2010 13:01:46 +0900] DB root password corrected!
[Tue, 13 Jul 2010 13:01:46 +0900] start upgrading mysqlpdb
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] execute mysql_upgrade command finished.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Looking for 'mysql.exe' as: C:\Program
Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysql.exe
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Looking for 'mysqlcheck.exe' as: C:\Program
Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysqlcheck.exe
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Running 'mysqlcheck' with connection
arguments: "--port=3770" "--host=127.0.0.1"
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] Running 'mysqlcheck' with connection
arguments: "--port=3770" "--host=127.0.0.1"
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] cb_cbgrn._table_info OK
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:28 +0900] cb_cbgrn.tab_cb_backupmode OK
(省略)
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] end upgrading mysqlpdb
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:33 +0900] 20100713 13:03:30 [INFO] Started
updating.
20100713 13:03:30 [INFO] Started grn3.0.0_local_main.
20100713 13:03:30 [INFO] Updated the version number of system attribute.
3.0.0
20100713 13:03:30 [INFO] Successeed to delete table
'tab_grn_message_addressees'
(省略)
20100713 13:03:33 [INFO] Finished updating.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] 20100713 13:03:34 [INFO] Started
updating after installation.
20100713 13:03:34 [INFO] Deleting old time zone data.
(省略)
20100713 13:03:40 [INFO] Finished updating after installation.

[Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] start removing versionup scripts
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:40 +0900] end removing versionup scripts
    
```

- a) : MySQL の更新結果
- b) : ガルーン 3 で使用するデータの更新結果
- c) : 更新プログラムの実行結果

バージョンアップする前のガルーンのバージョンによって、更新プログラムがデータベースを更新する場合があります。データベースが更新されると次のログが出力されます。処理は正常に終了しています。

```
mysql.help_category
error : Table upgrade required. Please do "REPAIR TABLE `help_category`" or dump/ reload
to fix it!
(省略)
Repairing tables
mysql.help_category      OK
mysql.help_keyword      OK
mysql.help_topic        OK
mysql.proc               OK
mysql.time_zone_name    OK
```



a) :ステータス

バージョンアップする前のガルーンのバージョンによって、次のログが出力される場合があります。処理は正常に終了しています。

```
[Warning] The syntax '--log_slow_queries' is deprecated and will be removed in MySQL 7.0.
Please use '--slow_query_log'/'--slow_query_log_file' instead.
```

注意

- 「INFO」か「OK」以外のステータスが出力された場合は、メッセージの内容に従って対応します。

補足

- 次のエラーは、status が「OK」であれば、対応する必要はありません。

mysql.general_log(一般クエリのログテーブル)の例

```
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] mysql.general_log
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] Error : You can't use locks with log tables.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] status : OK
```

mysql.slow_log(スロークエリのログテーブル)の例

```
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] mysql.slow_log
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] Error : You can't use locks with log tables.
[Tue, 13 Jul 2010 13:03:30 +0900] status : OK
```

MySQL のエラー

バージョンアップの処理では、MySQL のファイルやデータが段階的に更新されるので、一時的にエラーが発生します。error.log ファイルに次のエラーが出力されますが、処理は正常に終了しています。

Windows **環境のエラーメッセージの例**

```
100713 14:46:05 InnoDB: Started; log sequence number 0 40732198
100713 14:46:06 [ERROR] Column count of mysql.db is wrong. Expected 22,
found 20. Created with MySQL 50046, now running 50142. Please use
mysql_upgrade to fix this error.
100713 14:46:06 [ERROR] mysql.user has no `Event_priv` column at position 29
100713 14:46:06 [ERROR] Event Scheduler: An error occurred when initializing
system tables. Disabling the Event Scheduler.
100512 14:46:06 [Note] C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\bin\mysqld.exe:
ready for connections.
Version: '5.1.42-enterprise-cybozu' socket: '' port: 3770 MySQL Enterprise
Server (Commercial) - Cybozu
```

エラーの原因が不明な場合は、オフィシャルパートナー、または販売元にお問い合わせください。
<http://products.cybozu.co.jp/garoon/partner/>

3.3.2 テーブルキャッシュサイズを変更する

2.5.4 以前のバージョンからバージョンアップした場合は、テーブルキャッシュサイズを変更します。

Windows **環境**

- 1 サーバマシンに、Administrator 権限を持つユーザーでログインする
- 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 3 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 4 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 5 my.ini ファイルを開く
既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。
C:\Program Files\Cybozu\mysql-5.0\etc\my.ini

6 table_cache の値を、次のように変更する

変更前	変更後
##table_cache = max_connections * 2	## table_cache = max_connections * 2
max_connections = 50	max_connections = 50
table_cache = 600	table_cache = 1300

- 7 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 8 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
- 9 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックする

Linux 環境

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインする

2 スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn stop
```

3 サイボウズ データベースエンジンを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 stop
```

4 my.ini ファイルを開く

既定のディレクトリーにインストールした場合、my.ini ファイルは次のディレクトリーにあります。

例: /usr/local/cybozu/mysql-5.0/etc/my.ini

5 table_cache の値を、次のように変更する

変更前	変更後
##table_cache = max_connections * 2	## table_cache = max_connections * 2
max_connections = 50	max_connections = 50
table_cache = 600	table_cache = 1300

6 サイボウズ データベースエンジンを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 start
```

7 スケジューリングサービスを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn start
```

3.3.3 認証パスワードを再設定する

サイボウズ共通認証の認証パスワードを再設定する方法を説明します。次のすべての条件を満たす場合は、認証パスワードを再設定する必要があります。

- ガルーンを、バージョン 2.5.2 以前からバージョン 3.1.0 にバージョンアップした
- バージョンアップ前にサイボウズ共通認証を使用していた
- バージョンアップ後にオープン統合認証 ver.2 または、サイボウズ共通認証を使用する

1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [認証] > [セッション認証]の順にクリックする

2 セッション認証画面で、セッション認証名をクリックする

認証形式にサイボウズ共通認証を設定しているセッション認証を選択します。

3 「オープン統合認証 ver2」画面で、[変更する]をクリックする

4 認証パスワードを入力し、[変更する]をクリックする

バージョンアップ前に設定していたパスワードと、同じパスワードを使用できます。

3.3.4 ライセンスを登録する

バージョン 2.5.4 以前から 3.1.0 のガルーンにバージョンアップした場合は、バージョンアップ後にガルーン 3 の新規ユーザーライセンスを登録します。ライセンスを登録するまでは試用期間として扱われます。バージョンアップしてから 60 日以内にライセンスが登録されなかった場合は、ガルーン 3 を使用できなくなります。

- 1 システム管理画面で、[基本システムの管理] > [ライセンス] > [ライセンスの管理]の順にクリックする
- 2 「ライセンスの管理」画面で、[ライセンスを登録する]をクリックする
- 3 「ライセンスの登録」画面で、ライセンスキーを入力し、[登録する]をクリックする
- 4 ライセンス内容を確認し、[登録する]をクリックする

3.3.5 権限削除プログラムを実行する

バージョン 3.0.0 以降からバージョンアップした場合は、権限削除プログラムを実行します。バージョン 2.5.4 以前からバージョンアップした場合には、実行する必要はありません。必要に応じて権限削除プログラムを実行することで、不具合によってユーザーに付与された権限を削除できます。

注意

- バージョン 3.0.0 のガルーンで、メッセージに権限を設定している場合、ガルーンをバージョン 3.0.0 にバージョンアップした日を引数(before=YYYY-MM-DD)に指定して、スクリプトファイルを実行することを推奨します。
- バージョンアップした日付より後の日付を指定すると、メッセージを変更および削除する権限のすべてが削除される場合があります。

補足

- ガルーン 3.0 Service Pack 3 で権限削除プログラムを実行している場合は、バージョン 3.1.0 のガルーンで権限削除プログラムを実行する必要はありません。
- バージョン 2.5.4 以前のガルーンからバージョンアップした場合には、実行する必要はありません。

コマンドの引数と各環境での実行方法について説明します。

コマンドの引数について

exec	権限を削除します。exec を省略すると、権限を削除されるメッセージの数が表示されます。
before=YYYY-MM-DD	指定した日付(YYYY-MM-DD)より前に付与された権限を削除します。

Windows 環境

- 1 grn.exe が保存されているディレクトリーに移動する

```
cd C:¥Inetpub¥scripts¥cbgrn
```

- 2 次のコマンドを実行する

```
./grn_command.exe -f code¥command¥delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

Linux 環境

1 grn.cgi が保存されている場所へ移動する

```
cd /var/www/cgi-bin/cbgrn
```

2 次のコマンドを実行する

```
./grn_command -f code/command/delete_messages_maintainer.csp (引数)
```

4章 アンインストールする

ガルーン 3をアンインストールする手順を説明します。

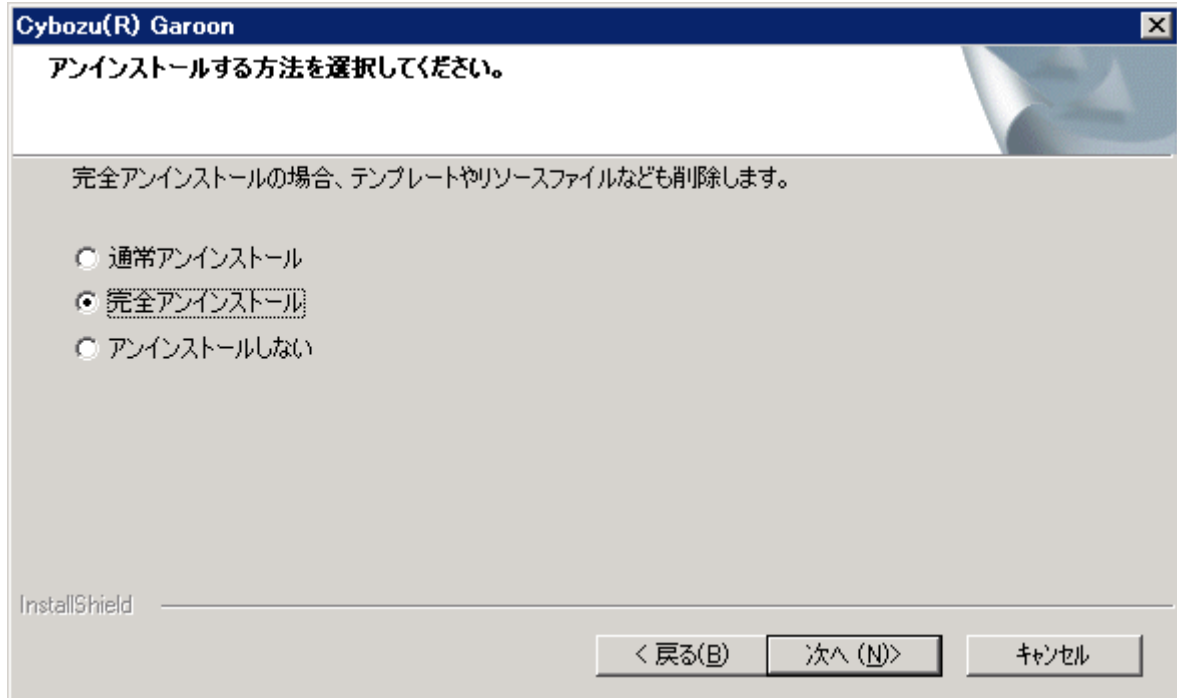
4.1 Windows 環境でアンインストールする

Windows 環境で、ガルーン 3をアンインストールする手順を説明します。

注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

- 1 サーバマシンに、Administrator 権限を持つユーザーでログインする
- 2 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [プログラムと機能]の順に選択する
- 3 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Garoon 3.1.0 (cbgrn)」を選択し、[アンインストール]をクリックする
- 4 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックする
アンインストールが始まります。
アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。



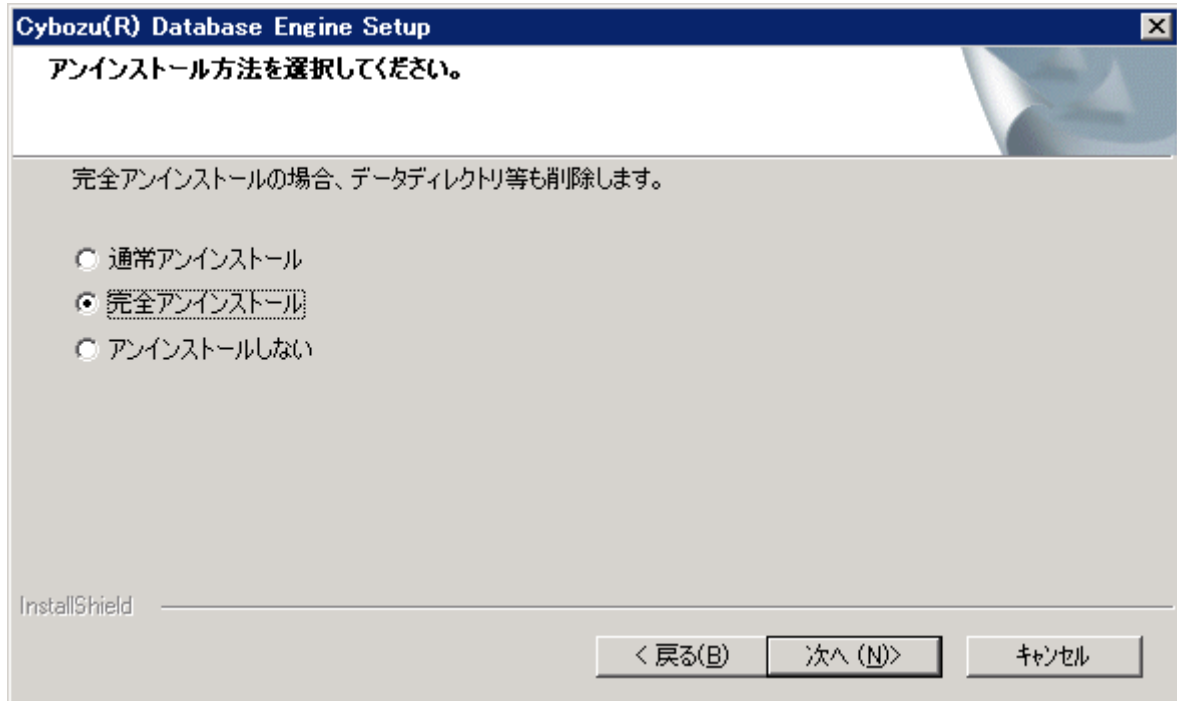
- 5 「メンテナンスの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックする
次に「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を削除します。
- 6 「プログラムと機能」画面で、「Cybozu(R) Database Engine 5.0」を選択し、[アンインストール]をクリックする

7 「完全アンインストール」を選択し、[次へ]をクリックする

アンインストールが始まります。

アンインストールを中止する場合は、[キャンセル]をクリックします。

アンインストールが完了すると、「メンテナンスの完了」画面が表示されます。



4.2 Linux 環境でアンインストールする

Linux 環境で、ガルーン 3 をアンインストールする手順を説明します。アンインストールには、インストーラーを使用します。

注意

- 下記の手順に従ってアンインストールしないと、完全にアンインストールできない場合があります。

1 サーバマシンに、root ユーザーでログインする**2 インストーラーが存在するディレクトリーに移動する****3 インストーラーを実行する**

64bit のインストーラーを使用した場合の例です。

```
[root@garoon admin]# sh grn-3.1.0-linux-x64.bin
```

4 表示された内容に従って、Y キーまたは N キーを押し、Enter キーを押す

上記のメッセージが正しく表示されている場合は Y を入力します。

If the above message is displayed correctly, type 'Y', otherwise type 'N'.

5 試用許諾契約を確認し、同意する場合は yes を入力し、Enter キーを押す

試用許諾契約に同意しない場合は no を入力し、Enter キーを押して、アンインストールをキャンセルします。画面をスクロールする場合は、Space または Enter キーを押します。

- 6 アンインストールするガルーン 3 のインストール識別子を確認する
- 7 インストール識別子を入力し、Enter キーを押す
- 8 製品を完全にアンインストール場合は、「3」を入力し、Enter キーを押す
設定ファイルやデータベースファイルなどのリソースを残して、アンインストールする場合は、「2」を入力します。
- 9 サイボウズ データベースエンジンを完全にアンインストールする場合は、「3」を入力し、Enter キーを押す

付録A サービスの停止方法と起動方法

スケジューリングサービスとサイボウズ データベースエンジンの、停止方法と起動方法を説明します。ここでは、インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に説明します。

注意

- Administrator 権限を持つユーザーまたは root ユーザーで作業を行います。

付録A.1 サービスを停止する

スケジューリングサービス、サイボウズ データベースエンジンの順に停止します。

Windows 環境

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 2 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの停止]をクリックする
- 3 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの停止]をクリックする

Linux 環境

- 1 スケジューリングサービスを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn stop
```

- 2 サイボウズデータベースエンジンを停止する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 stop
```

付録A.2 サービスを起動する

サイボウズ データベースエンジン、スケジューリングサービスの順に起動します。

Windows 環境

- 1 Windows のスタートメニューから、[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス]の順に選択する
- 2 「Cybozu_Database_Engine_5_0」を選択し、[サービスの開始]をクリックする
- 3 「Cybozu_Scheduling_Service_cbgrn」を選択し、[サービスの開始]をクリックする

Linux 環境

1 サイボウズデータベースエンジンを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyde_5_0 start
```

2 スケジューリングサービスを起動する

```
[root@garoon admin]# /etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn start
```

付録B ファイル構成

インストール識別子を「cbgrn」に設定した場合を例に、ガルーン 3 のファイル構成を説明します。インストールされるファイルは、次の 3 つに分類されます。

- CGI アプリケーション
- サイボウズ データベースエンジン
- 画像ファイル

付録B.1 Windows 環境のファイル構成

CGI アプリケーション

ガルーン 3 の CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例: C:\inetpub\scripts

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:\inetpub\scripts	CGI 実行可能ディレクトリー
cbgrn	インストール識別子
code	ガルーンのプログラム
command	
doc_root	
include	
pear	
plugin	
sched	
smarty	
extensions	PHP の機能拡張に必要なファイル
grn	ガルーン 3 の設定に必要な情報
help	ガルーン 3 のヘルプに関するファイル
system	
user	
local	ガルーン 3 の言語別リソース
page	ガルーン 3 のテンプレートファイル
sessiondata	PHP のセッションデータ
smarty	
cached	smarty ライブラリのキャッシュデータ
compiled	smarty ライブラリのコンパイル済みテンプレート

└%tmp	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
└%upload	一時的に保管される PHP アップロードファイル
└%cacher.ini	
└%cbsearch.ini	
└%common.ini	
└%common.lic	
└%db_error.log	
└%delete_user.log	
└%garoo.ini	
└%garoon_lwc.ini	
└%garoon_policy.ini	
└%grn.exe	
└%libmysql.dll	
└%License.txt	
└%logger.ini	
└%lwc.ini	
└%php4ts.dll	
└%php.ini	
└%profile.ini	
└%sched.exe	
└%sched.ini	
└%sched.log	
└%state.ini	
└%system_admin.ini	

サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例: C:%Program Files%Cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:%Program Files%Cybozu	インストールディレクトリー
└%mysql-5.0	サイボウズ データベースエンジンのファイル
└%bin	
└%my_print_defaults.exe	
└%mysql.exe	
└%mysql_upgrade.exe	
└%mysqladmin.exe	
└%mysqlbinlog.exe	
└%mysqlcheck.exe	
└%mysqld.exe	
└%mysqldump.exe	

	└─%mysqlimport.exe	
	└─%data	データベースエンジンのデータやログ
	└─%cb_cbgrn	
	└─%mysql	
	└─%error.log	
	└─%slow.log	
	└─%ib_logfile0	
	└─%ib_logfile1	
	└─%ib_logfile2	
	└─%ibdata1	
	└─%mysql.pid	
	└─%etc	
	└─%Samples	
	└─%my.ini	
	└─%files	グループ 3 の添付ファイル
	└─%cbgrn	
	└─%share	
	└─%charsets	
	└─%lang	
	└─%mysql_fix_privilege_tables.sql	
	└─%tmp	
	└─%cb_version	

画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例: C:%inetpub%wwwroot

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

C:%inetpub%wwwroot	ドキュメントルートディレクトリー
└─%cbgrn	インストール識別子
└─%3rd_party_license	サードパーティライセンス情報
└─%api	関連製品で使用するファイル
└─%fw	フレームワークに関する画像ファイルなど
└─%grn	グループ 3 に関する画像ファイルなど
└─%flash	
└─%html	
└─%image	
└─%cybozu	

└─%re	書式編集に関する画像ファイルなど
└─%html	
└─%image	

付録B.2 Linux 環境のファイル構成

CGI アプリケーション

ガルーン 3 の CGI アプリケーションは、インストール時に指定した CGI 実行可能ディレクトリーにインストールされます。CGI アプリケーションのファイルは、CGI 実行可能ディレクトリーの下、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- CGI 実行可能ディレクトリーの例: /var/www/cgi-bin

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/var/www/cgi-bin	CGI 実行可能ディレクトリー
└─ cbgrn	インストール識別子
└─code	ガルーン 3 のプログラム
└─command	
└─doc_root	
└─include	
└─pear	
└─plugin	
└─sched	
└─smarty	
└─extensions	PHP の機能拡張に必要なファイル
└─grn	ガルーン 3 の設定に必要な情報
└─help	ガルーン 3 のヘルプに関するファイル
└─system	
└─user	
└─locale	ガルーン 3 のリソース情報
└─page	ガルーン 3 のテンプレートファイル
└─sessiondata	PHP のセッションデータ
└─smarty	
└─cached	smarty ライブラリのキャッシュデータ
└─compiled	smarty ライブラリのコンパイル済みテンプレート
└─tmp	PHP スクリプト内で一時的に作成されるデータ
└─upload_tmp	一時的に保管される PHP のアップロードファイル
└─/cacher.ini	
└─/cbsearch.ini	
└─/common.ini	

```

└/common.lic
└/cyss_cbgrn.pid
└/db_error.log
└/garoon.ini
└/garoon_lwc.ini
└/garoon_policy.ini
└/grn.cgi
└/grn.exe
└/LICENSE.txt
└/logger.ini
└/lwc.ini
└/php.ini
└/profile.ini
└/sched
└/sched.ini
└/sched.log
└/script.log
└/state.ini
└/system_admin.ini
└/uninstall_cbgrn

```

サイボウズ データベースエンジン

サイボウズ データベースエンジンのファイルは、インストールした時に指定したインストールディレクトリーに保存されます。

- インストールディレクトリーの例: /usr/local/cybozu

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/usr/local/cybozu	サイボウズ データベースエンジンに関するファイル類
└/mysql-5.0	
└/bin	
└/my_print_defaults	
└/mysql	
└/mysql_upgrade	
└/mysqladmin	
└/mysqlbinlog	
└/mysqlcheck	
└/mysqld	
└/mysqld_safe	
└/mysqldump	
└/mysqlimport	
└/data	
└/cb_cbgrn	

		└/mysql-5.0
		└/error.log
		└/ib_logfile0
		└/ib_logfile1
		└/ib_logfile2
		└/ibdata1
		└/mysql.sock
		└/etc
		└/Samples
		└/my.ini
		└/files
		└/cbgrn
		└/share
		└/charsets
		└/lang
		└/mysql_fix_privilege_tables.sql
		└/tmp
		└/cb_version
		└/uninstall_cycle_5_0
		└/openssl
		└/lib
		└/openldap
		└/etc
		└/lib

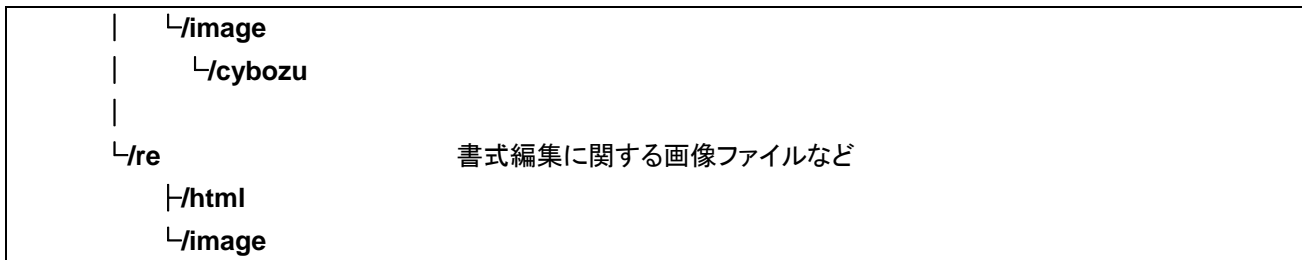
画像ファイル

画像ファイルは、インストール識別子と同じ名称のディレクトリーに保存されます。

- ドキュメントルートディレクトリーの例: /var/www/html

太字はディレクトリーを、通常の文字はファイルを示しています。

/var/www/html	ドキュメントルートディレクトリー
└/cbgrn	インストール識別子
└3rd_party_license	サードパーティのライセンス情報
└/api	
└/fw	フレームワークに関する画像ファイルなど
└/grn	ガルーン 3 に関する画像ファイルなど
└/flash	
└/html	



起動スクリプトファイル

起動スクリプトファイルは、起動スクリプトディレクトリーにインストールされます。

- 起動スクリプトディレクトリー例: /etc/rc.d/init.d

Cybozu データベースエンジン起動スクリプト:	/etc/rc.d/init.d/cyde_5_0
スケジューリングサービス起動スクリプト:	/etc/rc.d/init.d/cyss_cbgrn

索引

A

Administrator 権限 13, 31, 34, 42, 46
Administrator ロール 25

M

my.ini ファイル 8, 27, 39

R

root ユーザー 20, 35, 38, 43, 47

S

SELinux 20

W

Web サーバー
Apache 19, 35
IIS 11, 29

あ

インストール識別子 9, 15, 21, 36, 48

か

仮想化環境 7
仮想ディレクトリー 18, 23

さ

サービスの種類
サイボウズ データベースエンジン 49
スケジューリングサービス 49
実行可能ファイル 12, 30
実行ユーザー名 22
試用許諾契約 14, 21, 36, 47
商標について 2
製品名称 2

た

対象読者 2
タイムゾーン 9, 10, 19, 24
ディレクトリー
CGI 実行可能ディレクトリー 16, 21, 51, 54
インストールディレクトリー 14, 21, 52, 55
起動スクリプトディレクトリー 57
ドキュメントルートディレクトリー 16, 22, 53, 56
動作環境
対応 OS 6
対応 Web サーバー 6
対応 Web ブラウザー 7

は

パスワード
Administrator のパスワード 18, 23
データベース管理ユーザーのパスワード 9, 19, 24
ポート番号 22
ポート番号の設定 8
本書で使用している表記 2

ま

メールサーバー 7
認証形式 7
プロトコル 7

や

ユーザー情報の入力項目 26

ら

ログ
MySQL のバージョンアップログ 33
インストールログ 18, 23, 33
初期化のログ 33
バージョンアップログ 33

お問い合わせ先 <http://products.cybozu.co.jp/garoon/support/>
発行日 2011年6月 第3.2版発行
発行者 サイボуз株式会社
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 12F

Copyright (C) 2010-2011 Cybozu, Inc.